

令和元年度 長崎大学 新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン 在宅・地域医療実習

実習生：澤瀬 寛典

実習先：奥平外科医院

たくま医院

長崎記念病院

安中外科・脳神経外科医院

実習期間：令和元年9月13日(金)～11月29日(金)

実習生感想：

令和元年9月から11月にかけて4施設で在宅・地域医療実習をさせていただきました。現在、私は長崎大学病院消化器内科の胆膵班に属しており、胆・膵領域の悪性腫瘍の診断や治療に関わる機会が多いです。中には終末期の患者さんもあり、実際に在宅への紹介・調整を行うことも少なくないのですが知らないことも多く、在宅医療の実際について非常に興味を持っていたなかでの実習となりました。実習は毎週金曜の午後に訪問診療に同行するかたちで行わせていただきました。

① 奥平外科医院

9月13日から10月4日までの計3日実習させていただきました。

居宅への訪問診療が中心で、癌の終末期の方や神経難病の方など多岐にわたる患者さんを見ておられました。特に印象深かったのは、肝細胞癌終末期の方。在宅に移行して間もなく、遠方よりご家族も多く集まっておられました。家族にとっては不安が多いなか、丁寧な診察や説明をされており、患者さんだけでなく家族にとっても大きな支えになっている姿を見ました。他にも気管チューブの交換などの処置も見学・経験させていただきました。また診療の間や移動中にも患者さんや訪問看護師からの問い合わせも多くあり、中には入院が必要な患者さんを高次医療機関へ紹介するなど、24時間365日対応を体現されていました。



② たくま医院

10月11日から10月25日までの計3日実習させていただきました。詫摩先生は長崎在宅Dr.ネット立ち上げに大きく関わっており、実習初日には長崎在宅Dr.ネットの成り立ちや仕組みについて講義をいただきました。長崎市の人口10万人あたりの一般診療所数は全国トップであり医師の過密地域だからこそ、相互に助け合うシステムがあれば医師の負担を減らして、より効果的な在宅医療ができるのではないかと考えられシステムを構築され、主治医の精神的および肉体的な負担軽減に寄与しています。実際に担当患者さんの訪問診療を依頼する場合は、まず在宅Dr.ネットの事務局に申し込み、事務局ではメンバーで患者情報を提供するとともにメンバーに受け入れを要請し、手上げ方式で主治医・副主治医を決定するのですが、ほとんどの症例は1日以内に決定するとお聞きし、その速さに驚きました。

訪問診療は深堀地区の居宅やグループホームに同行させていただきました。同地区は旧城下町という特性もあってか道は狭く、また車の横付けができないような坂の上の居宅など長崎らしさを経験し、いつも穏やかで笑いの絶えない診療風景が印象的でした。



③ 長崎記念病院

11月1日と11月15日の計2日実習させていただきました。小笠原先生はもともと他院にお勤めであったが、在宅医療に興味があり一昨年4月より現病院に転職され在宅医療に携わっているとのこと。移動中の車内でも転職のきっかけや在宅医療に対する想いを聞くことができました。また、ある患者さんでは訪問診療の予定時間よりも早く着いたところ、訪問入浴サービスを利用して最中で、計らずとも入浴サービスも見学することができました。まるでF1のピットインさながらの無駄のない動きで入浴やその後のケア、組み立て浴槽の片付けなどをこなしていました。まさにいろんな職種が訪問診療に関わっているのだと目の当たりにすることができました。

④ 安中外科・脳神経外科医院

11月22日と11月29日の計2日実習させていただきました。安中先生は大変お忙しく、実習初日に医院へ伺った際には、すでに病院車に乗り込み今にも出発せんという勢いでした。スマートフォンやapple watchを駆使し医院のスタッフと情報交換をしながら患者さんとも連絡を取り合い、数多くの訪問診療をこなしておられました。特に印象深かったのは独居の癌患者の方でした。これまで仮に独居の方が在宅を望んだとしても実際に生活を送ることは困難と思い積極的に勧めたことはなかったのですが、訪問診療等が介入することで自宅生活が可能となる患者さんがいることを知れました。



今回、長崎在宅 Dr.ネットの4施設で在宅医療実習として訪問診療に同行させていただきました。4人の先生方それぞれ専門分野も異なり、診療のスタイル、患者さんの病状も様々でしたが、「患者さんが望む環境で生活をおくってほしい」という熱い想いと大きな荷物を携えながらもフットワーク軽く診療している姿は共通していました。訪問診療のリアルな姿を見ることができ、また本レポート記載中に某吉本芸人を起用し話題となった ACP：Advanced care planning についても改めて考えることができました。

最後になりましたが、大変お忙しいところ実習を引き受けていただいた奥平定之先生、詫摩和彦先生、小笠原貞信先生、安中正和先生、また各スタッフの皆様にご心より感謝申し上げます。

<実習報告会>

